

# 平成28年度自己評価結果公表シート

三愛幼学園

## 1、 本園の教育目標

### 理 念：

生まれながらにして持っている人間の善意を目覚めさせ、幼児それぞれの尊い素質と個性を温く培い、そして人間が成長し、生きていく為、社会に調和した人格の芽を導き育てることが本園の目的であり理想であります。社会に受け入れられない人格は本人自身の不幸は言うまでもありませんが、それはまた社会の不幸であるといえます。人間の個性と素質といった全人格の基礎が幼児期に方向づけられることを思うとき、幼児教育の重要性を痛感するものであります。

本園は三愛学園と称しますが、三愛とは「自愛、互愛、博愛」のことであり、自分自身を愛することの重要な意味を悟り、それから出発して他人を、また社会を広く愛するに至る人間社会における愛の調和を訴え、実践する意味であります。人類愛こそは世の中を美しく、和やかにする基盤であると確信いたし、「自愛、互愛、博愛」を本園の幼児教育の基本方針に掲げております。本園はこの重要な使命を自覚し、この理想に向かって教育の一端に貢献する所存であります。

### 目 標：

幼児期は特に心身の発育の盛んな時期です。この幼児期に心情、意欲、態度、生活習慣など、生涯人格形成の基礎が培われる重要な時期であることを踏まえ、幼稚園教育要領、保育所保育指針を、そして上記の理念を基本として、下記の本園の「園訓」に基づいて「教育目標」を設定し、乳幼児の視点に立ち保育者や保護者、地域の方々の愛情、温かい見守りの中で、次世代を担う子供達が伸びやかに健やかに、その素晴らしい素質を伸ばすための土台をしっかりと作ってゆくの为本園教育と養育の大きな役割であると考えております。さらに、社会の役割、保護者の多様なニーズに対応し、地域の子育ち、親育ちの為の子育て支援の拠点として、地域や保護者との連携を図りながら、愛情と喜びをもつ子育て支援の輪を広げ、努めることを目指します。

#### 本園の

「園 訓」 …… 自愛・互愛・博愛

「教育目標」 …… ☆ 健康教育、情操教育、創造教育を通して、  
お子さまの個性をはぐくみます。

☆ 集団生活の中から、自分を知り、他人を知り、そして自然を知る。

☆ のびやかに、そして、すこやかに。

自 愛 = 健康教育……健やかに、たくましく

互 愛 = 情操教育……心がはずみ、

博 愛 = 創造教育……やるき、目の輝き

## 2、 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・園内研修を企画し、学園全体で0～5歳時の発達をおさえ、一人ひとりを大切にする保育をすすめていく。
- ・園全体で行事のみなおしをはかり、こども園と幼稚園で連携をとりながら、楽しいとくみにしていく。
- ・就労支援・子育て支援は子どものことを真ん中に考えて取り組む。
- ・地域に貢献し、小学校との連携もしっかりとっていく。

## 3、 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
・学園一体となって行事をすすめる	・各行事の担当者を幼稚園とこども園から選び、中心になってすすめている。
・就労支援の充実。	・就労されている母親が増えてきているのでPTAの活動などにも見直しをして負担軽減している。 ・預かり保育も無理なく楽しめるものに工夫している。
・子育て支援の充実	・園庭開放の日に学園集会を行い、体操・ダンス等を地域の親子と一緒に楽しめた。 ・さくらんぼひろば、赤ちゃんひろばは定員をはずし、随時受け入れた。親同士が話し合い、子育ての苦労や悩みを出し合い、交流の場になっている。
・働きやすい職場づくり	・普段から気軽に話しができ、悩みがあれば相談し、解決できるような雰囲気をつくる様努力した。 ・前期・後期の最低2回全職員のヒアリングを行い、問題解決に結びつけている。
・個々の力量アップとチームワークづくり。	・臨床心理士・保育研究の一人者であるスーパーバイザーに指導・研修を受けた。 また、日々の実践の中で子どもに寄り添い、発達を促している。事例を学び合い、今後学んだことを実践に繋げていこうと話合っている。

#### 4、 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・園内研修・外部の研修に参加し、学んだことを土台に作品展や生活発表会を見直し、子どもの成長・発達を踏まえたものになってきている。行事担当を中心に話し合いを重ねながら学園一体となって行事を進めることができた。
- ・就労支援では母親の就労が増え、預かり保育の利用者が増えてきた。子どもに無理のないよう体制、保育内容を考え、課題もあるが子どもに負担のないように進めることができた。
- ・子育て支援は定員をはずしたことで登録者が増え、学園への入園希望者が増えてきている。また、第4回夏祭りを開催し、地域の方にも楽しんでもらった。
- ・小学校との連携では小学校に5歳児が招待してもらい交流ができた。また、引継ぎが必要な子は各学校を訪問し、担当者に引継ぎを行う事ができ、よりスムーズな就学ができた。

#### 5、 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・0～5歳を見通した学園としての保育・教育の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子の関係をよりよく築く為の手助けや、大人との信頼関係を築く為に必要なことを身につける。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学園一体となって、行事を進めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修で学んだ発達を基に、0～5歳児を見通して、日々の保育、行事等で更に心も身体も成長する為の取組みを考える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にひらかれた学園として子育て支援や、地域や小学校との連携をはかっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤ちゃんひろば（0～1歳児）、さくらんぼひろば（2～3歳児）と年齢別に日にちを設け、充実を図る。また平成29年度より、よちよちひろば（1～2歳児）を新設し、子育て支援を強化する。</li> <li>・小学校と子ども達の交流を増やし、連携をより強化し、スムーズに入学し、小学校になじめるようにする。</li> <li>・夏祭りをより地域にひらいた形で開催する。安全確保の為に警備員も手配し、参加者が楽しめるように進めた。また、来年度は40周年でもあるので、より地域の方々が参加しやすいような形を目指す。</li> </ul>



## 6、 学校関係者の評価

少人数制、こども園との併設で縦割り保育も充実し、年齢を超えた人間関係を学び、広々とそた園庭で昔ながらの遊具で全身を使って遊ばせ、移動動物園でのふれあいや園内菜園での野菜を収穫し食して命の尊さを学ぶなど、体力的にも内面的にも充実した幼児教育と感じます。

ここ数年、働く保護者の増加にともない時代の流れに合わせ、園の良さを残しながらより一層園児が心身ともに健やかに園生活を過ごせるように保護者の気持ちにも寄り添いながら開拓されていく姿に今後の三愛学園の発展を期待しております。

(在園児保護者)

## 7、 財務状況

公認会計士監査により、適正な運営がされていると認められている。